

アセット・インベスターズ株式会社

(大阪証券取引所第二部、福岡証券取引所 証券コード3121)

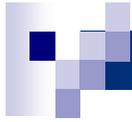
2006年3月期 決算説明資料

2006年5月19日 代表取締役社長 若山 健彦

Copyright (c) Asset Investors Co., Ltd. All rights reserved.

目次

経営成績・財務状況の概況	3
1. 業績ハイライト(連結)	4
2. 事業別収益構成(連結)	5
3. 貸借対照表の要旨(連結)	6
4. 株式指標分析	7
5. 財務指標	8
マーチャント・バンキング事業の概況	9
マーチャント・バンキング事業の概況 - 企業投資 -	10
マーチャント・バンキング事業の概況 - 不動産投資 -	11
マーチャント・バンキング事業の概況 - 投資残高状況及び計画 -	12
M&A事業の概況 - 国内企業投資の状況 -	13
M&A事業の概況 - 海外投資の状況 -	14
ホスピタリティ&ウェルネス(H&W)事業の概況	15
07/3期業績見通し及び中期経営計画	16
1. 07/3期の見通し	17
2. 07/3期の取り組み	18
3. 中期経営計画(連結)	19
4. 国内外のストラテジック・パートナーとのアライアンス	20
5. 当社グループと平澤氏との共同事業について	21
5. 当社グループと平澤氏との共同事業について	22
参考資料		



経営成績・財務状態の概況

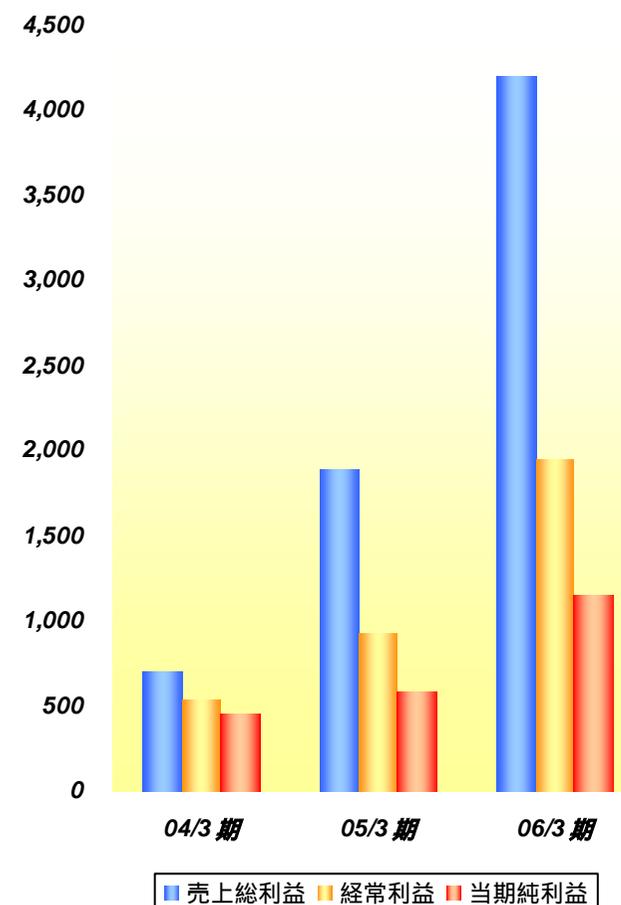
1. 業績ハイライト (連結)

(単位: 百万円)

	04/3期	05/3期	前期比	06/3期	前期比
売上高	978	2,610	+167%	8,264	+216%
売上総利益	708	1,896	+168%	4,200	+122%
売上総利益率	72%	73%		50%	
営業利益	560	994	+78%	2,094	+110%
営業利益率	57%	38%		25%	
経常利益	545	934	+71%	1,958	+109%
経常利益率	56%	36%		23%	
当期利益	459	586	+28%	1,159	+97%
当期利益率	47%	22%		14%	

05/3期より連結決算を行っております。

利益の推移

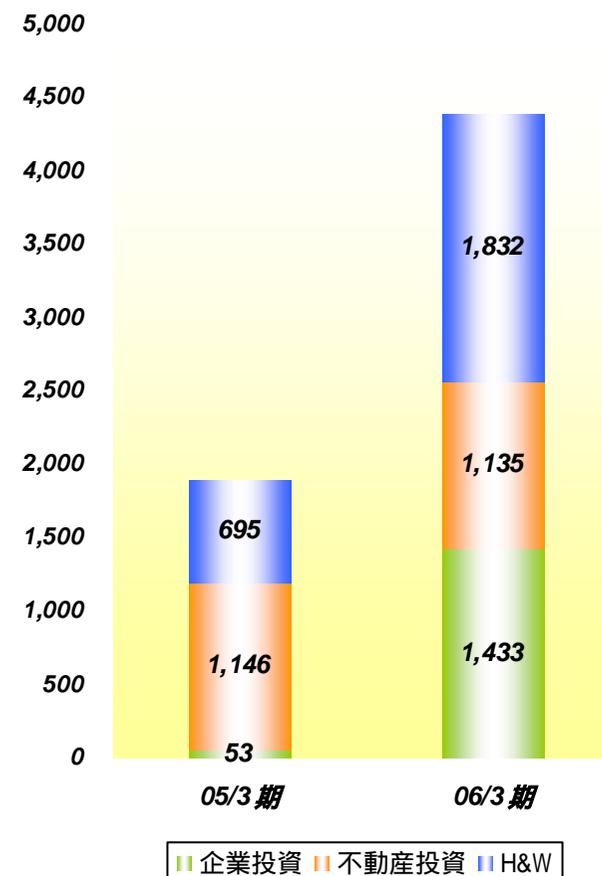


2. 事業別収益構成 (連結)

(単位: 百万円)

	05/3期	前期比	06/3期	前期比
売上高	2,610	+167%	8,264	+217%
マーチャント・バンキング事業	1,495	+109%	5,574	+273%
企業投資	53	-	1,770	+3,240%
不動産投資	1,442	+101%	3,804	+164%
ホスピタリティ&ウェルネス事業	1,094	+318%	2,606	+138%
売上総利益	1,896	+168%	4,200	+122%
マーチャント・バンキング事業	1,199	+84%	2,568	+114%
企業投資	53	-	1,433	+2,604%
不動産投資	1,146	+76%	1,135	▲0%
ホスピタリティ&ウェルネス事業	695	-	1,832	+164%
営業利益	996	+78%	2,094	+111%
マーチャント・バンキング事業	1,027	+112%	2,228	+116%
ホスピタリティ&ウェルネス事業	▲33	-	147	-

売上総利益の推移



3. 貸借対照表の要旨 (連結)

(単位: 百万円)

	05/3期	06/3期	構成比	前期増減
流動資産	8,160	18,860	81%	+10,700
現預金	853	2,775	12%	+1,922
企業投資	3,808	9,198	40%	+5,390
不動産投資	2,065	4,512	19%	+2,447
棚卸資産	1,254	2,153	9%	+899
固定資産	3,333	4,433	19%	+1,100
有形固定資産	3,022	3,603	15%	+581
無形固定資産	92	72	0%	▲20
投資その他の資産	219	757	3%	+538
資産合計	11,492	23,294	100%	+11,802

	05/3期	06/3期	構成比	前期増減
流動負債	3,529	6,209	27%	+2,680
短期借入金	2,575	4,249	18%	+1,674
1年以内返済予定長期借入金	256	553	2%	+302
固定負債	1,666	6,318	27%	+4,652
新株予約権	0	4,025	17%	+4,025
長期借入金	760	1,326	6%	+566
資本	6,296	10,766	46%	+4,470
資本金	2,062	3,719	16%	+1,657
資本剰余金	1,259	2,916	12%	+1,657
利益剰余金	2,944	3,864	17%	+920
負債・資本合計	11,492	23,294	100%	+11,802

4. 株式指標分析

	04/3期末	05/3期末	06/3期末
発行済株式総数 (千株)	16,000	35,424	82,291
1株当純利益(EPS) (円)	29	17	14
1株当純資産(BPS) (円)	167	178	131
株価 (円)	360	399	385
時価総額 (百万円)	5,760	18,279	31,682
PER (倍)	12.5	22.7	26.9
PBR (倍)	2.1	2.2	2.9

5. 財務指標

		05 / 3 実績	06 / 3 実績	補足
自己資本比率		55%	46%	新株予約権付社債(残40億円)の転換した場合には、63.5%まで改善
ROE	株主資本経常利益率	20%	22%	経営指標である15%以上は達成
	株主資本純利益率	12%	13%	
収益性指標	売上高粗利益率	73%	50%	今年度は販売用不動産の売却に伴う不動産部門売上の計上があったことが比率低下の要因(同要因控除後 73%)
	売上高営業利益率	38%	25%	(同 36%)
	売上高経常利益率	35%	23%	(同 34%)
	売上高当期純利益率	22%	14%	(同 20%)

マーチャント・バンキング事業の概況

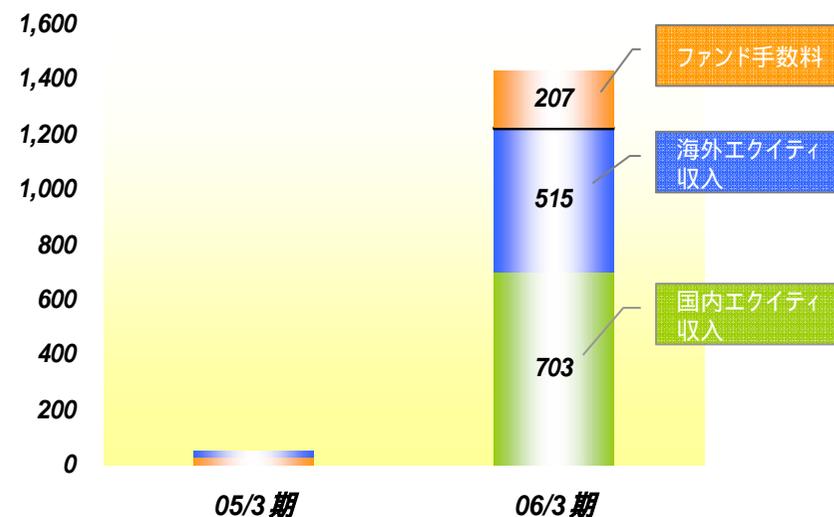
マーチャント・バンキング事業の概況

- 企業投資 -

売上総利益の構成

	売上総利益		
	05/3期	06/3期	構成比
投資部門	53	1,226	86%
国内	30	703	49%
エクイティ収入	0	703	49%
手数料	30	0	0%
海外	23	523	36%
エクイティ収入	23	515	36%
手数料	0	8	1%
ファンド部門	0	207	14%
合計	53	1,433	100%

(単位: 百万円)



投資残高の推移

	05/3期			06/3期			
	投資社数	投資額	構成比	投資社数	投資額	構成比	前期比
国内	3	2,620	69%	20	5,717	62%	+127%
上場企業	1	490	13%	8	3,084	34%	+572%
未上場企業	2	2,130	56%	12	2,633	28%	+25%
海外	6	1,189	31%	14	3,481	38%	+209%
上場企業	4	407	11%	9	2,582	29%	+581%
未上場企業	2	782	21%	5	899	9%	+15%
合計	9	3,809	100%	34	9,198	100%	+152%

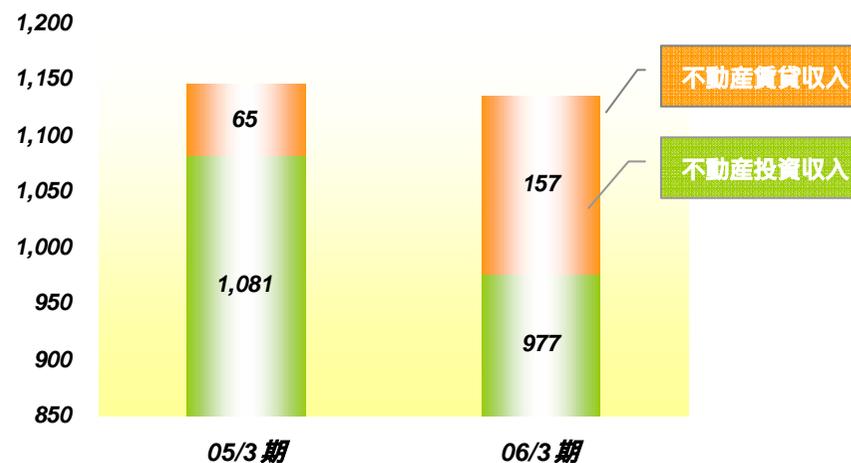
マーチャント・バンキング事業の概況

- 不動産投資 -

(単位: 百万円)

売上総利益構成

	売上総利益		
	05/3期	06/3期	構成比
不動産投資	1,081	977	86%
不動産賃貸	65	157	14%
合計	1,146	1,135	100%



投資残高の推移

	05/3期			06/3期			
	投資物件・ファンド数	投資額	構成比	投資物件・ファンド数	投資額	構成比	前期比
TK出資金(みなし有価証券を含む)	7	2,065	63%	14	4,512	69%	+118%
棚卸資産	3	1,234	37%	7	2,105	31%	+70%
合計	10	3,299	100%	21	6,617	100%	+100%

マーチャント・バンキング事業の概況 - 投資残高状況及び計画 -

(単位:百万円)

	05/3期実績		06/3期実績		07/3期計画		08/3期計画	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
企業投資	3,809	53%	9,198	58%	10,000	63%	12,500	63%
国内	2,620	69%	5,717	62%	6,000	60%	8,000	64%
海外	1,189	31%	3,481	38%	4,000	40%	4,500	36%
不動産投資	3,299	47%	6,617	42%	6,000	38%	7,500	38%
棚卸資産	1,234	38%	2,105	32%	2,000	33%	2,000	27%
有価証券	2,065	62%	4,512	68%	4,000	67%	5,500	73%
投資残高合計	7,108	100%	15,815	100%	16,000	100%	20,000	100%

M&A事業の概況 - 国内企業投資の状況 -

案件名		種類	投資年月	業種	状況
上場企業	1. 自然堂 (JQ2340)	事業展開支援	04年3月	温浴施設	スーパー銭湯「極楽湯」の直営・フランチャイズ事業の展開。中期的なチェーン展開の期待感から、株価は近時、堅調に推移
	2. ビーアイジーグループ (JQ9439)	業態転換支援	05年4月	移動体通信販売	移動体通信機器販売から投資会社へ業態転換。モッズヘア、QBハウスをM&A、ヘアサロン業界の再編を目指す
	3. プライムリンク (HC2720)	スポンサー	05年9月	外食	外食フランチャイズ本部事業。当社とGSと共同で増資を実施し財務改善。今後、M&Aを通じて外食業界の再編を目指す
	4. AIバリューパートナーズ フリット・キャピタル	投資ファンド	04年11月	アセット・グループの 戦略ファンド 伊藤忠商事との共同 戦略ファンド	当社株主であるアセット・マネジャーズ、伊藤忠商事との共同ファンド。それぞれの機能・ノウハウを活かし主に上場企業へ投資。
未上場企業	1.イーバンク銀行	IPO投資	-	ネット銀行	国内ネット銀行の最大手。業績も安定的に黒字転換し、早期のIPOを目指す他、投資銀行業務におけるパートナーでもある
	2.多田建設	会社更生法	05年12月	ゼネコン	リーマンブラザーズグループとの共同案件。不動産ファンドとのシナジーによるバリューアップで再上場を狙う。2006年6月に更生計画最終決定予定。
	3. (株)キムラヤ	民事再生法	05年1月	ディスカウント・ストア	百貨店出身者の役員の派遣、エイムクリエイツとの協働により再生中。2005年11月に新橋本店改装し、インポート・ブランドショップへ転換図る。

M&A事業の概況 - 海外投資の状況 -

	案件名	投資年月	業種	タイプ	備考
上場企業	1. China Medical Technologies Inc.	2005年 2月	がん治療機器の製造販売	IPO	2005年8月 米国NASDAQ 上場 (code CMED)
	2. Wasion Meters Group Limited	2005年 3月	電力メーターの製造販売	IPO	2005年12月 香港証券取引所 上場 (code HKSE 3393)
	3. eSun Holdings Limited	2005年 4月	不動産(マカオ)開発、 メディアエンターテインメント	Project	香港証券取引所 上場 (code HKSE 0571)
	4. Power Quotient International Co., Ltd	2005年 6月	PC周辺機器及びメモリ等 製造販売	Restructuring	台湾証券取引所 上場 (code 6145 TT)
	5. Carico Holding Limited (旧社名: Gorient (Holdings) Limited)	2005年 6月	自動車メーカーへの投資 会社	Project	香港証券取引所 上場 (code HKSE 0729)
	6. China Best Group Holding Limited (旧社名: E - LIFE)	2004年 12月	中国における石炭産業の 再編・投資	Project	香港証券取引所 上場 (code HKSE 0370)
未上場企業	1. China Stem Cells Holdings Limited	2005年 11月	臍帯血バンク事業	IPO	上場準備中
	2. Shanghai Hantao Information Consulting Co., Ltd.	2006年 1月	飲食店検討サイト運営	IPO	上場準備中
	3. Media China Group Limited	2006年 1月	音楽配信	IPO	上場準備中

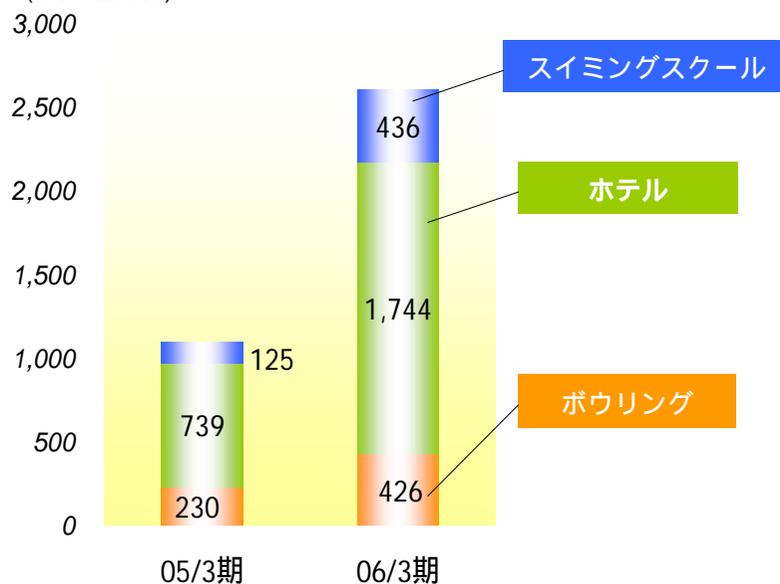
ホスピタリティ&ウェルネス (H&W) 事業の概況

(単位: 百万円)

	05/3期	06/3期
H&W事業売上高	1,094	2,606
ボウリング事業	230	426
ホテル事業	739	1,744
スイミングスクール事業	125	436

H&W事業売上構成の推移

(単位: 百万円)



H&W事業の概況

ホテル事業

- ホテル日航茨木大阪
客室稼働率が上昇し、高位安定
レストラン・宴会部門の収益改善で2005年12月は過去最高の売上を計上
ホテル資産はREITへ組入れ(2006年3月)
- ホテルJALシティ松山
2005年12月、アセット・オペレーターズが運營業務受託
JALグループとの2件目のホテル運営

ボウリング事業 (中部地区に2箇所、北関東に1箇所)

- 2005年7月、ボウリング事業をアセット・インベスターズからアセット・オペレーターズへ営業譲渡
- 2005年7月、「AMPLEX坂東(茨城県)」オープン

スイミングスクール事業 (大阪府下2箇所)

- 約5,000名の会員収入による安定的な収益貢献

H&W事業の戦略

- 事業を買収し、当社の子会社が運営を行うことでバリューアップを図り、M&A事業とのシナジー効果を見込む
- 将来的に規模を拡大させ、事業売却しExitを目指す
- その他投資先とのシナジー効果を狙う

07 / 3期業績見通し及び中期経営計画

1. 07/3期の見通し

(単位:百万円)

	06/3期	07/3期計画	前期比
売上高	8,264	8,700	+5%
売上総利益	4,200	5,900	+40%
MBG	2,568	3,350	+30%
企業投資	1,433	1,950	+36%
不動産投資	1,135	1,400	+23%
H&W	1,832	2,750	+50%
営業利益	2,094	3,050	+45%
経常利益	1,958	2,800	+43%
当期純利益	1,159	1,750	+50%
EPS	14.1	21.3	+51%

* 07/3期計画のEPSは現時点での発行済株式総数で算出(潜在株式勘案後は19.0)。

2. 07/3期の取り組み

マーチャント・バンキング(MBG)事業

今期はグローバル・マーチャントの確立を目指す

- 国内及び海外での企業投資と不動産投資のバランスの取れたポートフォリオの確立
 - 国内の企業投資： 不動産投資：既投資案件のExit本格化及び積極的な投資残高の積み上げ
 - 海外の企業投資： 既投資案件のExit本格化
 - 海外の不動産投資：今年度より中国を中心とする東アジアで投資開始。第一号案件は、中国香港の大手不動産デベロッパーと共同で中国・広州の商業・オフィス複合ビルを手がける。

- グローバル・マーチャント・バンクの拡充
 - 平澤氏と合弁会社「株式会社フィナンシア・CI」を設立。平澤氏の企業再生のノウハウ・大手の海外ファンドとのリレーションと当社グループの投資銀行事業とのシナジーを追及。
 - 香港の大手プライベート・エクイティ(PE)投資会社に出資し、日本及びアジアのPE投資事業の拡充を図る
 - 国内においても投資銀行及び有力なファンド会社との協働による投資を積極的に展開

ホスピタリティ&ウェルネス(H&W)事業

今期は昨年来のバリューアップした成果を生かし、さらなる成長を目指す

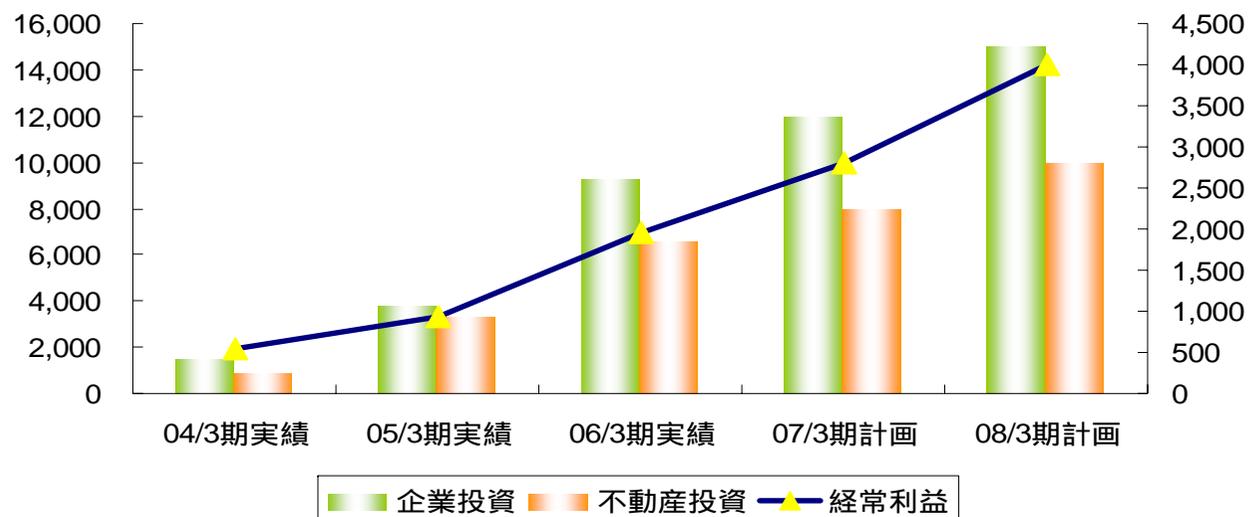
- M&Aによりホテルを始めとして新規事業分野も視野に入れて、H&W部門の拡充を図る
 - 昨年7月に「AMPLEX坂東」、12月に「JALシティ松山」のオペレーションが加わり、H&W事業を拡充
 - 本年3月に「ホテル日航茨木大阪」をJ-Reitへ移管。eAsset投資法人との初の協働案件

3. 中期経営計画（連結）

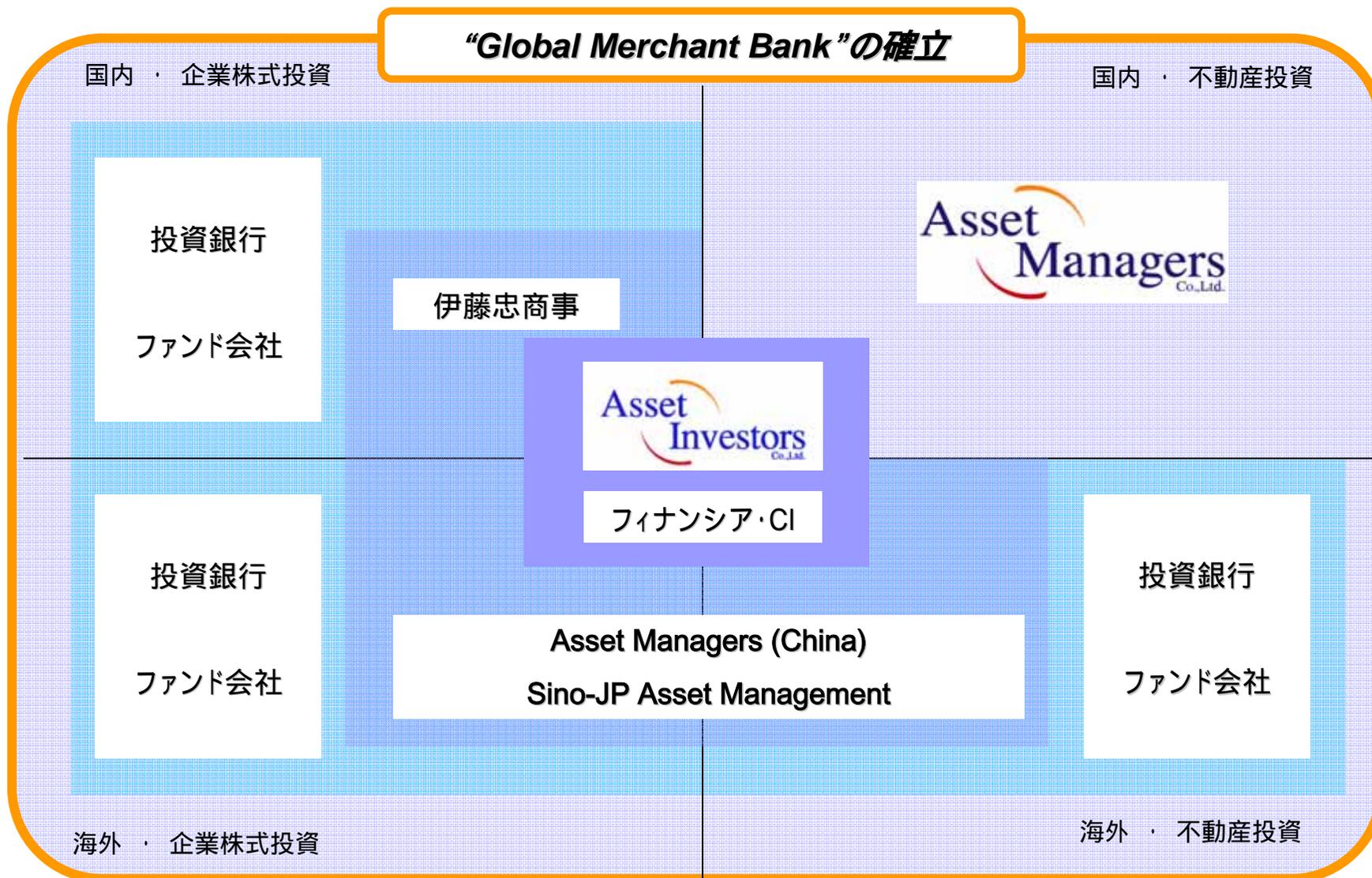
(単位:百万円)

						中期計画			
	04/3期 実績	05/3期 実績	前年度比	06/3期 実績	前年度比	07/3期 計画	前年度比	08/3期 計画	前年度比
売上高	979	2,610	+166%	8,264	+216%	8,700	+5%	10,000	+17%
経常利益	545	934	+71%	1,958	+109%	2,800	+43%	4,000	+42%
当期利益	450	586	+30%	1,159	+97%	1,750	+51%	2,300	+31%

投資残高と利益計画

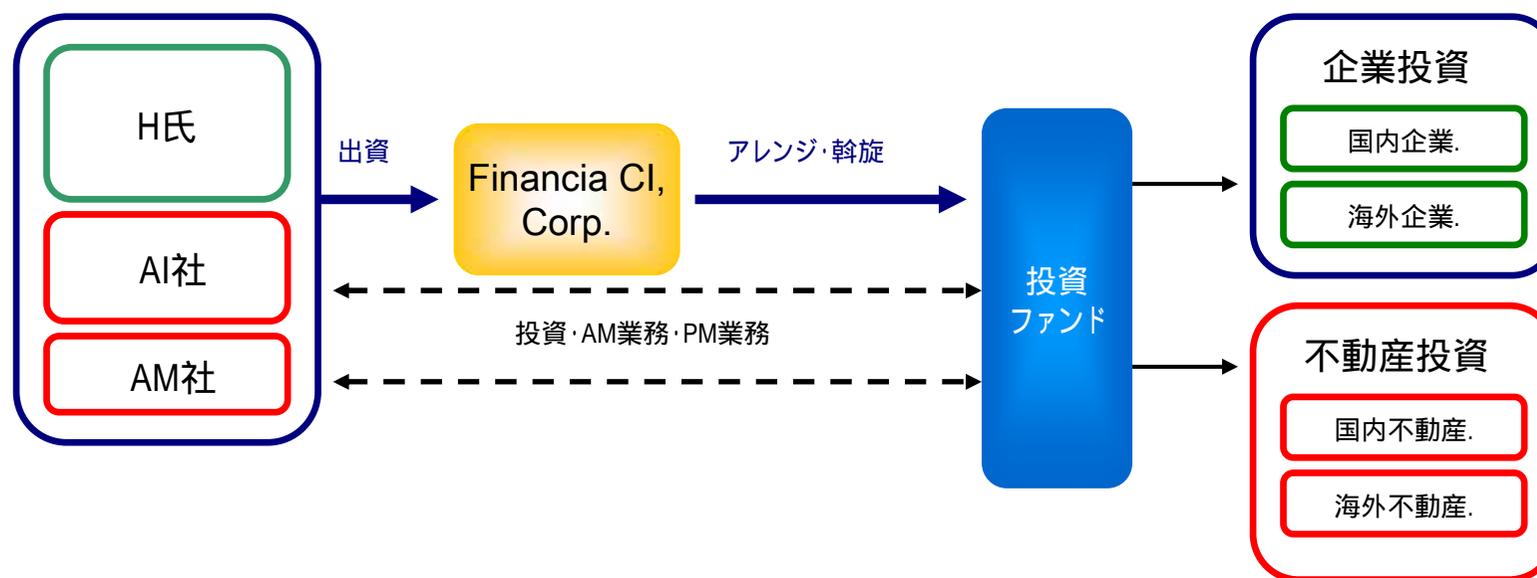


4. 国内外のストラテジック・パートナーとのアライアンス



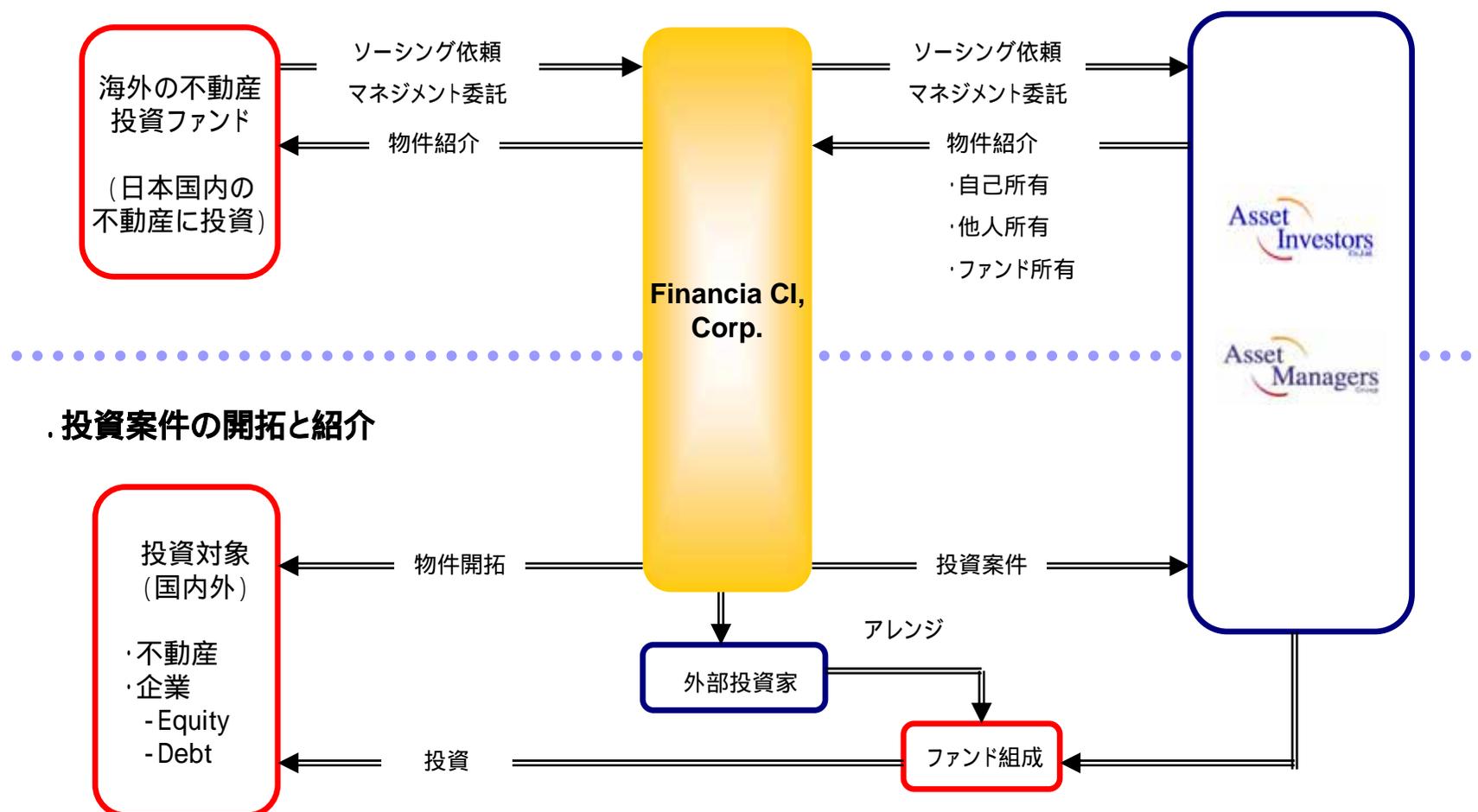
5. 当社グループと平澤氏との共同事業について

- 商号 株式会社フィナンシア・CI (英語 Financia CI, Corp)
- 所在地 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー17階
- 代表者 代表取締役 平澤 潔
- 株主 平澤氏51% / アセット・インベスターズ 34% / アセット・マネジャーズ 15%
- 業務内容 企業投資・不動産投資ファンド運用業務
上記ファンドのアドバイザー・コンサルティング業務
国内外の企業投資・不動産投資に係る仲介、斡旋業務
アセット関連コンサルタント(含アセットマネジメント)業務



5. 当社グループと平澤氏との共同事業について

・海外投資家(ファンド)による国内不動産への投資のアレンジメント業務



参考資料

1. ビジネスモデル
2. アセット・グループのビジネスモデル
3. 会社概要

1. ビジネスモデル

企業投資(国内)

国内企業投資

自然堂、プライム・リンク、イーバンク銀行、多田建設

FRIT投資ファンド(伊藤忠商事株との共同ファンド)

AIVP上場株式投資ファンド(アセット・グループ・ファンド)

事業再生

ホテル/スイミングスクール/ゴルフ場
アルミ製造メーカー

企業投資(海外)

Pre-IPO投資

China Medical Technology 米Nasdaqへ上場
Waision Meters 香港市場へ上場
上海同済

事業支援

China Best Group Holdings
Golden Harvest
Upfront Technology
PQI
eSun Holdings



- ・ホテル・スミミング
- ・AMPLEX(アミューズメント)
- ・ボウリング

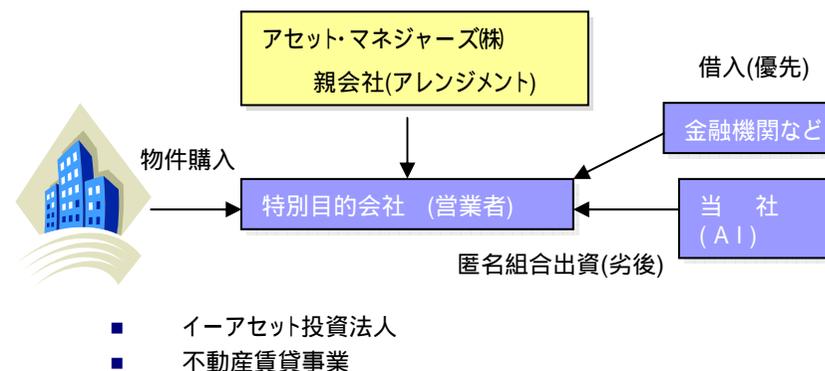


その他

- ・温浴施設
- ・外食チェーン

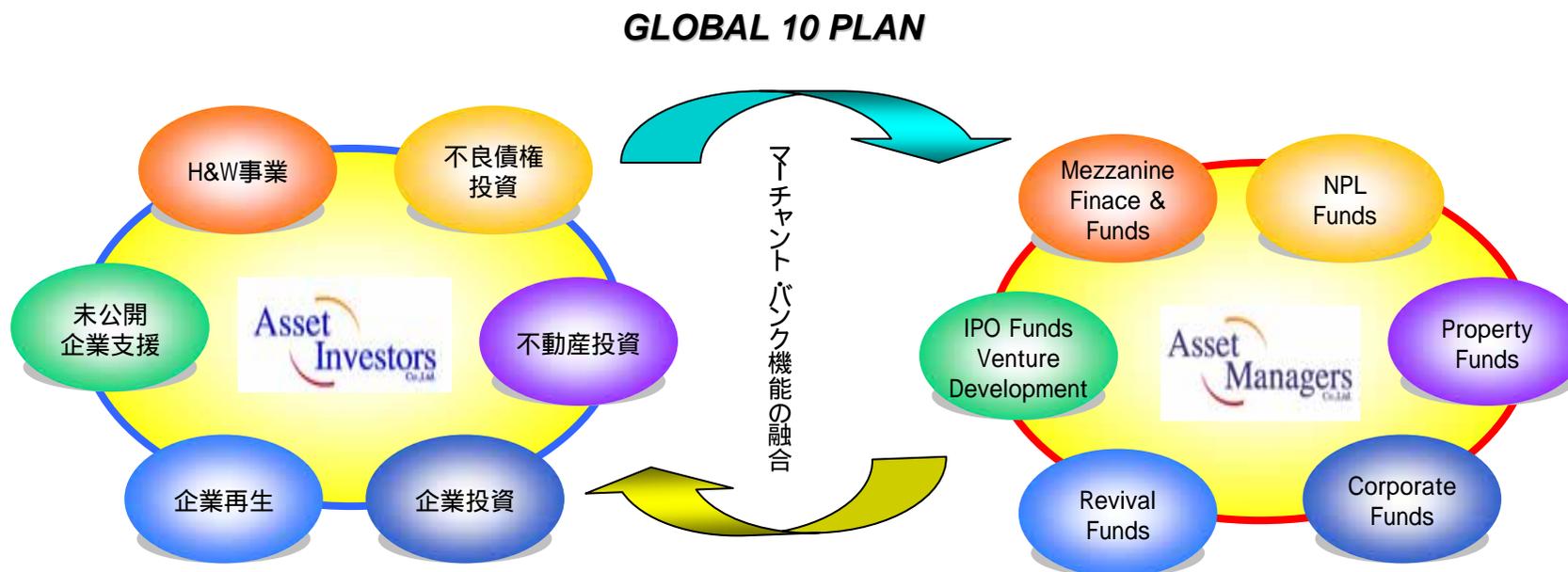


ホスピタリティ&ウェルネス



不動産投資

2. アセット・グループのビジネスモデル



Concept of business

投資家(インベスター)

マーチャントバンクとしてのノウハウ及び情報ネットワークを活用し、あらゆる投資機会を追求。

事業家(マーチャント)

企業文化・人材を尊重し、ビジネスパートナーとしての立場から、企業価値創造を支援し地域社会に貢献することを目指す。

Concept of business

マーチャントバンク(投資銀行)としての情報ネットワークを活用し、高度なスキルを有する金融・不動産のプロフェッショナルが世界のマーケットにおける様々な裁定機会を識別し、ファンドビジネスを展開。欧米系のハゲダカファンドとは一線を画して地域社会に貢献することができるマーチャントバンクを目指す。

